

シプロジニル剤（ユニックス顆粒水和剤47）によるリンゴ斑点落葉病の防除

園芸試験場

1 取り上げた理由

リンゴ斑点落葉病に対する新しい系統の薬剤として、ユニックス顆粒水和剤47の実用性について検討した結果、対照薬剤（キノンドー水和剤40・トモオキシラン水和剤）に優る効果が認められたので、参考資料とする。

2 参考資料

1) 薬剤名 シプロジニル剤（商品名：ユニックス顆粒水和剤47）

- a 有効成分：シプロジニル 47%
- b 製剤（外観）：褐色細粒及び微粒
- c 毒性：普通物，魚毒性：B類
- d 安全使用基準：収穫14日前まで，3回以内

2) 対象病害虫

- a リンゴ斑点落葉病

3) 使用方法

- a 使用時期：生育期（特に6月の斑点落葉病急増期，9月の秋冷期）
- b 使用濃度：1,000倍
- c 使用方法：散布

3 利活用の留意点

- 1) 散布液調整時には，溶液を十分攪拌し，調整後は速やかに散布する。
- 2) オウトウに薬害（葉の褐変・落葉）を生じる恐れがあるので，付近にある場合はかからないように注意する。
- 3) 過度の連用は避け，なるべく作用機作の異なる薬剤と輪番で使用する。
- 4) 炭疽病には効果が期待できないので，炭疽病の発生が多い場合は，キャプタンなどの効果のある薬剤を混用する。

4 背景となった主要な試験研究

- 1) 研究課題名及び研究期間
環境に優しい果樹減農薬防除技術の確立 平成9年
新農薬による病害虫防除法 平成7～9年

2) 参考データ

表－1 斑点落葉病の防除効果

供試薬剤	希釈倍数	調査葉数	発病葉率	1葉当たり病斑数	薬害
ユニックス 顆粒水和剤47	1,000倍	2490	1.8	0.02	—
キノトール水和剤40	600倍	2407	5.9	0.07	—
無散布	—	2438	42.6	0.85	

表－2 斑点落葉病に対する防除効果<参考>

供試薬剤	希釈倍数	調査葉数	発病葉率	1葉当たり病斑数	薬害
ユニックス 顆粒水和剤47	2,000倍	366.6	11.0	0.14	—
トモキシリン水和剤	500倍	365.0	23.0	0.35	—
無散布	—	395.0	72.2	2.31	

※なお、本剤は2,000倍でも登録拡大の予定である。
本剤の価格は500gで3,300円程度
包装単位は500gと1Kgの2種類

- 3) 発表論文等
なし